

■ 自宅付近で危険箇所がないか確認しましょう。

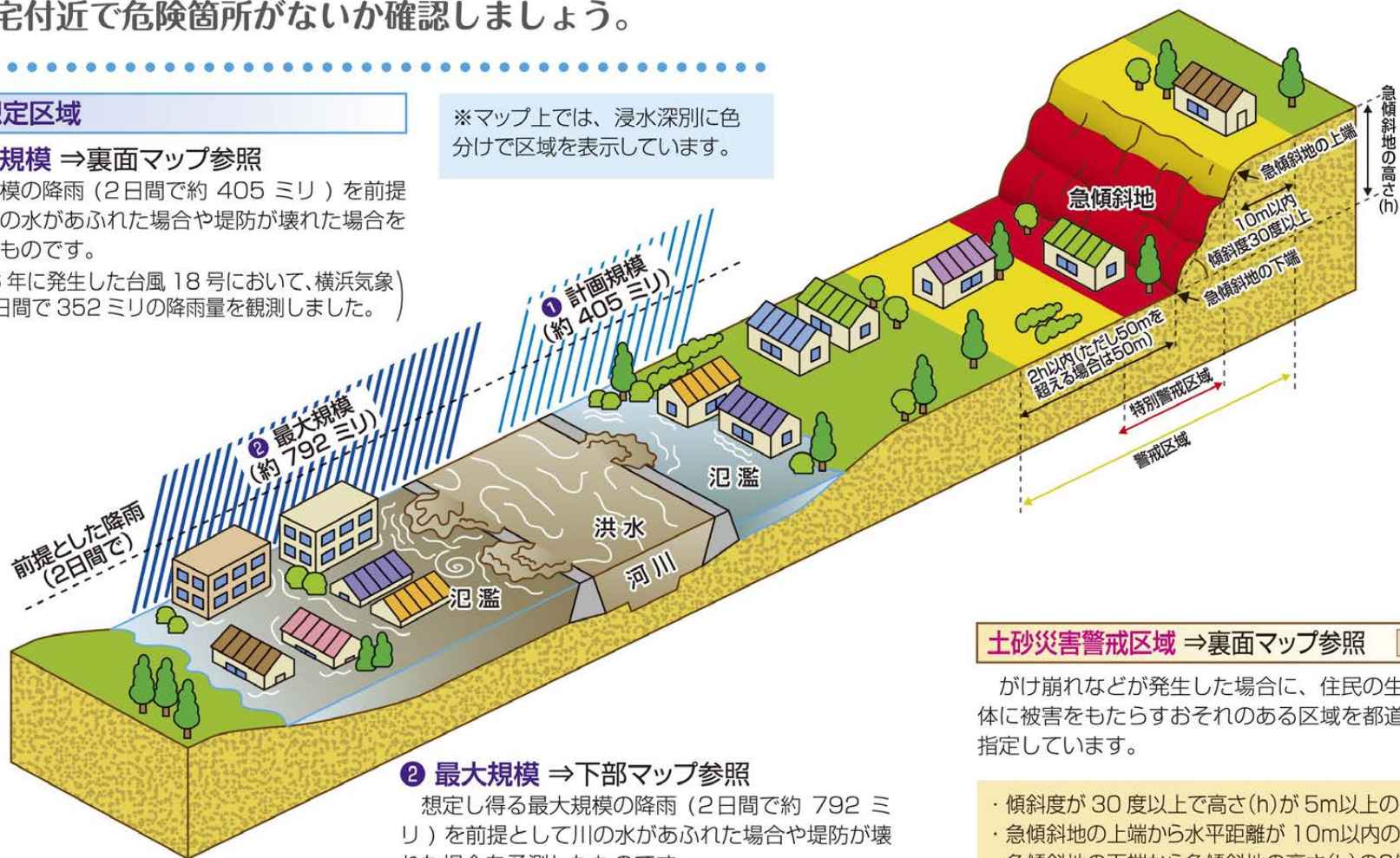
浸水想定区域

① 計画規模 ⇒裏面マップ参照

計画規模の降雨（2日間で約 405 ミリ）を前提として川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合を予測したものです。

（平成 26 年に発生した台風 18 号において、横浜気象台で 2 日間で 352 ミリの降雨量を観測しました。）

※マップ上では、浸水深別に色分けで区域を表示しています。



② 最大規模 ⇒下部マップ参照

想定し得る最大規模の降雨（2日間で約 792 ミリ）を前提として川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合を予測したものです。

（本想定は、1000 年に 1 回程度発生する可能性のある降雨量を上回る設定をしています。）

土砂災害警戒区域 ⇒裏面マップ参照

がけ崩れなどが発生した場合に、住民の生命や身体に被害をもたらすおそれのある区域を都道府県が指定しています。

- ・ 傾斜度が 30 度以上で高さ(h)が 5m以上の区域
- ・ 急傾斜地の上端から水平距離が 10m以内の区域
- ・ 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さ(h)の2倍 (50mを超える場合は 50m)以内の区域